

教職センターだより

2024年6月28日 第4号
相模女子大学教職センター発行

2024年度教員採用試験に向けて

すでに公立幼・保の採用試験は、4月から始まり2次面接から4次面接と続いています。小・中・高の教員を目指す学生は、7月上旬の1次試験、8月の2次試験を控え採用試験対策に熱心に取り組んでいます。教職センターの教員と指導員は、面接カード・アピールシートの書き方、個人面接、論作文、場面指導・模擬授業等を日々計画的に一人ひとりの学生に合わせて行い、時には、悩み相談も行っています。採用試験は、幼保・小・中(国語・英語・家庭)・高(国語・書道・英語・情報・家庭)・栄養教諭・特別支援教諭・学校栄養職員があり、様々な講座を受講し採用試験に向けて力をつけてきているところです。



6月の大きな取り組みの一つ目は、教師塾を受験する学生の論作文指導と面接指導でした。神奈川県ティーチャーズカレッジ、横浜市のI(アイ)カレッジ、相模原市風っ子教師塾に応募する学生たちが教職センターに通いました。



二つ目は、子ども教育学科の依頼を受けて行った大学1年生向けの「教員の魅力」についての特別講義です。神奈川県と横浜市に合格した大学4年生、幼稚園の試験を受ける4名にゲストとして登場してもらい試験の模擬授業を演じてもらったり、教員の志望理由や試験勉強の方法等をインタビューしたりしました。5限・6限と遅い時間ではありましたが、たくさんの学生が熱心に話を聞いてくれました。1年生の感想には、「これから先の4年間の過ごし方がわかってよかった。採用試験の様子や教員への道のりがわかった。教職センターが支援してくれることで安心した」等がたくさんありました。センターに求められていることへの思いを深くする機会となりました。